

健康フェア可児

いきいき健康生活を目指して

1

10月18・19日の2日間、文化創造センターで、今年で18回目となる、健康フェア可児が開催されました。18日は、落語家の三遊亭楽太郎さんが「笑いは心の栄養剤」と題した講演が行われ、約1000人が聴き入りしました。

楽太郎さんは、笑いと健康の関わりをユーモアあふれる内容で紹介し、「笑いは副作用がなく、ストレス解消や免疫向上、老化の防止になります」と語り、会場からはたくさんの拍手が起こりました。



栄養バランスの良いメニューは・・・?

FLASH★

19日は、可児医師会による健康相談や可児歯科医師会による歯科相談、各種団体による展示やバザーなどがありました。

会場は多くの人でにぎわい、健康について考えるよい機会になりました。



「笑い」について語る楽太郎さん



医師による相談コーナーは大人気

車椅子ツインバスケットボール

シュートよ決まれ!

2



2日目、白熱した決勝戦

「心豊かな福祉のまちづくり」の一環として10月18・19日に帷子公民館で第14回可児市長杯車椅子ツインバスケットボール大会が開催されました。

18日は、市内4中学校のバスケットボール部員による対抗戦を行い、車いすの操作に苦勞しながらも、切れの良いプレーをしていました。19日は、東海地区を中心に活動する、4チームのトーナメント戦が行われ、熱戦の末、岐阜エクスプレスが優勝しました。

&可児市体育連盟設立25周年

FLASH★

25周年を盛大に祝って

3

&可児市体育連盟設立25周年記念式典が10月25日に文化創造センターで開催され、約630人が参加しました。

オープニングの東濃実業高等学校吹奏楽部による演奏に続き、功労者への表彰を行いました。後半には、中京大学新体操部(男子・女子)がステージで華やかな模範演技を披露し、ミュンヘン五輪体操団体金メダリスト笠松茂さん一家のトークショーも行われ、客席を沸かせていました。



力強く華麗な演技にうっとり

可児市のバラを発表

FLASH★

可児バラまつり2008

4



「かに乙女」と名付け親の西さん

10月26日、花フェスタ記念公園で、可児バラまつり2008が行われ、広報紙で市民投票が行われた、「可児市のバラ」の発表がありました。

バラは5品種の中から「ファミー」が選ばれ、名称は西幸子さん(塩)の応募による「かに乙女」に決定しました。西さんは「かわいらしく、やわらかい感じのバラ。覚えやすく親しみの持てる名前を付けました」と笑顔で話してくれました。

サヨリめしコンテスト

FLASH★

郷土料理がおいしく復活

5

宮内庁の「全国郷土料理調査(昭和14年)」で、日本5大名飯に選ばれた郷土の味「サヨリめし」(サンマの炊き込みご飯)を復活させようと、オリジナルメニューのコンテスト二次審査が11月3日、総合会館で行われました。

一次審査を通過した5人が実際に調理し、味や見栄えを競いました。最優秀賞は可児陽子さん(土田)の「ちらし寿司風サヨリめし」で、焼いたサンマをシイタケと一緒に甘辛く仕上げました。調理法は市観光協会のホームページで公開しています。



調理中。会場に良い香りが漂います

FLASH★

絆(きつずな)るゝむ

FLASH★

親子の憩いの場がオープン!

6



絵本や木のおもちゃもあるよ!

11月5日、市役所向かいの総合会館1階に、常設型子育てサロン「絆(きつずな)るゝむ」がオープンしました。

3歳未満の子どもと保護者の憩いの場として、平日の午前8時30分～午後5時まで利用できます。スタッフが常駐し、授乳室や調乳室、こども用トイレ、ベビーベッドなどが備えられています。利用者から、「大きな子がいる場所は目が離せませんが、ここは3歳未満の子が対象なので安心して遊ばせられます」という感想を聞きました。乳幼児健診の際など、気軽に立ち寄ってください。いさり、情報交換の場としてご利用ください。

可児農業祭

FLASH★

実りの秋は楽しさいっぱい

7

11月15・16日に、花フェスタ記念公園で可児農業祭が開催されました。品評会会場には、農家の人が丹精込めて育てたジャンボカボチャ、季節の野菜、果物が並び、訪れた人の目を惹きつけていました。

また、サトイモ煮やつきたてもちの配布に長い列ができたほか、吹奏楽や太鼓のステージ発表、木工教室などのさまざまな催しがあり、両日多くの人でにぎわいました。



自慢の農作物がズラリ